



“ほっと”ギャラリー 展示作品のご案内 《 11月 》

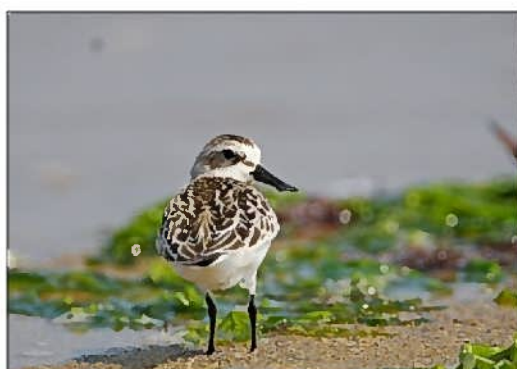


★「海辺の鳥たち」写真展のご案内

三雲地域振興局の“ほっと”ギャラリーで、三雲地域の海辺で見られる鳥たちと「セイタカシギ」の繁殖記録について、写真で紹介しています。
三雲地域振興局へお越しの際には、ぜひご覧ください。

◎展示期間 平成27年11月2日（月）～11月27日（金）まで
午前8時30分～午後5時15分まで

◎展示場所 松阪市曾原町 872 番地
三雲地域振興局「“ほっと”ギャラリー」



三雲地域の河口に広がる干潟は、多くの野鳥たちの採食、休息、越冬地として、極めて良好な環境を提供しており、全国的にも貴重な渡り鳥の飛来地になっています。

川から流れてきた砂などがたまることにより広がった浅瀬で、干潮になると底が姿を現す場所を「干潟」といい、水鳥のエサとなる貝やカニなど数多くの生き物がくらしています。

干潟には、絶滅危惧種ⅠＢ類（近い将来に野生での絶滅の危険性が高いもの）に指定されている「クロツラヘラサギ」「コシャクシギ」や、絶滅危惧種Ⅱ類（絶滅の危険が大きくなっている種類）に指定されている「シロチドリ」など、世界的に絶滅が危惧されている鳥たちもやってきます。「シロチドリ」は「三重県の鳥」にも指定されており、春先には砂浜で卵を生み、育てます。

平成24年（2012年）には、絶滅が危惧される「セイタカシギ」が、松阪市曾原町の曾原大池で繁殖をしました。捕食や巣の水没などで失敗することが多い中、繁殖が成功した貴重な記録が残されています。セイタカシギのヒナが生まれ、巣立つまでのようすについて、写真で紹介しています。

多くの鳥たちが羽を休めたり、子どもを育てたりするためにやってくる貴重な自然を、これからも大切にしていきたいものです。